

平成28年度 第2回社会教育委員の会議 会議録

- 1 開催日時 平成28年12月22日（木）13時30分～15時00分
- 2 開催場所 人材かがやきセンター研修室（中央生涯学習センター5階）
- 3 出席委員 14名
河田委員長，駒場副委員長，持田委員，稲木委員，櫛渕委員，三村委員，橋本委員，
金田委員，勝田委員，加藤委員，小池委員，佐々木委員，若園委員，金崎委員
- 4 会議の公開・非公開の別 公開
- 5 傍聴者 0名
- 6 内容
 - (1) 報告事項
 - ① 平成29年宇都宮市成人式について
 - ② 第58回全国社会教育研究大会千葉大会の参加報告について
 - ③ 河内図書館の指定管理の指定について
 - (2) 協議事項
 - ① 平成29年度 社会教育関係団体に対する補助について
 - (3) 意見交換
 - ① 「社会教育・生涯学習に関する市民意識調査」の結果（速報）について

7 発言の要旨

河田委員長	それでは，報告事項①「平成29年宇都宮市成人式について」事務局から説明をお願いします。
事務局	【資料について説明】
河田委員長	ありがとうございました。 例年，成人式には委員の皆様が御出席いただいていると思いますが，何か御意見・御質問等ありましたらお願いします。 特に御意見等ないようですので，次の議題に移ります。 では，報告事項②「第58回全国社会教育研究大会千葉大会の参加報告について」事務局から説明をお願いします。
事務局	【資料について説明】
河田委員長	ありがとうございました。

それでは何か、御意見・御質問等ありましたらお願いします。

では、次の議題に移ります。

報告事項③「河内図書館の指定管理の指定について」事務局から説明をお願いします。

事務局

【資料について説明】

河田委員長

ありがとうございました。

それでは何か、御意見・御質問等ありましたらお願いします。

よろしいでしょうか。では、次に協議事項に入ります。

協議事項①「平成29年度 社会教育関係団体に対する補助について」事務局から説明をお願いします。

(補助金交付団体の関係者は退席)

事務局

【資料について説明】

河田委員長

ありがとうございました。

それでは何か、御意見・御質問等ありましたらお願いします。

稲木委員

生涯学習課が所管する4団体への補助金総額は、2,550,000円であり、交付できる補助金を各団体へ交付しているということでしょうか。

事務局

4団体へ交付している補助金総額は2,550,000円となります。なお予算については、各団体への補助金ごとに予算要求をしております。

金崎委員

補助金を交付する団体については、目的に該当する団体を公募による選定を実施しているのでしょうか。それとも過去の補助対象団体へ補助金を交付しているのでしょうか。社会教育については、積極的にいろいろな活動をしている団体があると思いますので、そのあたりについて教えていただけますでしょうか。

事務局

補助金交付団体の公募による選定は実施しておりませんが、全市的に社会教育活動を実施している4団体へ補助金を交付しております。過去にはもっと多くの社会教育関係団体へ補助金を交付しておりましたが、補助金の変遷を経て、現在はこの4団体となっているところです。

金崎委員

社会教育に関する活動は、この4団体だけではなく多くの団体が活動していると思います。いろいろな団体が意義のある活動をしていると思いますので、広く公募を募っても良いかと思いますが、どうでしょうか。

事務局	<p>社会教育については多くの団体が多様な活動を行っている状況のなか、現在、社会教育関係団体への補助金交付については、PTA連合会など地域の支部をまとめ全市的な活動が顕著である4団体に補助金を交付しており、補助金の交付団体を毎回選定していくのは難しいと考えております。補助金の交付状況については他市の状況などについて調査研究し、様々な認識を深めてまいります。</p>
金崎委員	<p>宇都宮市文化協会については、単位の組織をまとめている組織でしょうか。</p>
事務局	<p>文化協会については、音楽や演劇など600近い団体や個人が加盟しております。こうした中、市民芸術祭の実施など各団体等がネットワークを構築し、公益的な事業に協力いただいております。全市的に広域的な活動をしている団体だと認識しております。</p>
金崎委員	<p>社会教育については、新たにいろいろな教育活動に取り組んでいる組織や団体があると思うので、決まった団体に毎年補助金を交付するのではなく、公募などの方法も検討していただきたいと思っております。</p>
河田委員長	<p>この5団体が補助対象となっているのも理由があるからだと思えます。金崎委員からの御意見あったように、社会教育に関しては、現在では多くのいろいろな団体が活動しております。全市的な活動内容やこれまでの様々な経緯を踏まえて、補助金交付団体として現在この5団体となっていると思えますので、事務局はそういった背景が皆に理解されるようにして頂きたいと思えます。</p> <p>それでは、この件については、よろしいでしょうか。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>では、全て確認したということで先に進みます。</p>
	<p>(退席委員が席に戻る。)</p>
	<p>意見交換①「社会教育・生涯学習に関する市民意識調査」の結果（速報）についてになります。</p> <p>今年度、教育委員会では市民意識調査を実施したとのことですが、その結果速報が出たということです。今後、事務局が回答の分析を実施して、計画や施策等に生かしていくうえで、委員の皆様御意見・御感想などを参考にしていきたいとのことですので、よろしく願いいたします。</p> <p>では、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>【資料について説明】</p>
河田委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>単純集計の結果ということで、今後、詳しい分析をしていく必要があると思いま</p>

すが、委員の皆様から何か、御意見・御質問等ありましたらお願いします。

橋本委員

地域にある市民活動センターの図書室については、図書の充実をお願いしたいと思います。また、メールによる図書の貸出については、もっとPRすることでより読書活動の推進が図られると思います。

事務局

先ほどの意識調査の結果においても図書館の事業においてPRが足りないとの声がありますので、今後さらに市民へ周知を図ってまいります。

河田委員長

意識調査の結果全体を見ての感想ですが、市民が社会教育に対する関心のある程度もっているなど感じます。しかし、自ら何か活動するかと言うと、それは行政や関係団体をお願いしたいという傾向が見えてきます。社会教育や生涯学習は、各個人が自ら動き出さないと意味がないので、活動できない・活動したくない人は、どのような人か分析をお願いしたいと思います。

また、今の時代を反映しているのか、モラルやマナーなど規範に関する内容に対して市民が高い関心を持っていると感じます。

事務局

今回の意識調査では、回答者の属性、例えば世帯の状況や、子どもの有無などについて前回調査より詳しく調べているので、今後よく分析してまいります。

河田委員長

学習が活動に結び付くのはなかなか難しいと思うが、調査結果を見ると活動のきっかけは口コミが有効となっているようである。一方、行政の広報活動は資料などによる広報だと思うので、この調査結果を生かして、市民が活動につながるような取組を検討する必要があると思います。

他に何かありますでしょうか。

勝田委員

地域の教育力に関する質問で、「以前に比べて低下している」と回答した人の年齢構成が非常に気になります。また、地域活動を始めたきっかけについては、子どもが小学校等に入学することに伴って地域活動を開始する人もいると思います。しかしながら、子どもが卒業すると地域からも卒業するような傾向もあり、困っております。最近では、隣の家の人とも挨拶をしないような世の中であり、こういった身近なところから変えていかないと、いろいろなことが良くなれないと思います。

佐々木委員

分析にあたっては、地域によって差があると思うので、そのあたりも検討して頂きたいと思います。また、自分の経験では一戸建ての世帯とマンション・アパートなどの集合住宅の世帯では、地域からの情報の伝わり方が違ってくると感じています。

若園委員

意識調査の結果18、19ページにあるように、口コミや人とのつながりが重要になると感じています。また、皆さんの意見を伺っていると今後は学校がキーワー

ドになるのではないかと思います。地域コーディネーターや地域連携教員など、いろいろな活動者がいると思いますが、こうした人たちをどうやってつなげていくかがカギとなると思いますので、今後の分析を待ちたいと思います。

小池委員

3,000人を調査して回答が1,000件くらいというのは、回答率としてどうなのでしょう。また、子育て世代の方と話をしていると、社会教育や生涯学習は高齢者が対象なのでは、と感じる方が多いようです。そういうこともあるので、意識調査の名称が「社会教育・生涯学習に関する市民意識調査」とあると、若い世代の方々は回答の意識が低く、高齢者の回答率が高くなったのかなと感じました。

事務局

前は「社会教育・生涯学習」に関する調査とは別に、「人づくり」に関する意識調査も実施しており、そちらの回答率は今回調査よりも高い回答率でした。また、こうした意識調査では、1,000以上の回答が集まれば、概ね正確な傾向がつかめると言われております。御意見ありましたとおり、次回調査においてはアンケート名称についても検討したいと考えております。

河田委員長

ありがとうございました。その他に何かありますでしょうか。
それでは、以上で私の進行を終了させていただきたいと思います。
皆さん御協力ありがとうございました。では、進行を事務局に戻します。

事務局

河田委員長、進行ありがとうございました。
それでは、次第「その他」になります。
事務局より連絡事項について説明させていただきます。

【配布資料および、次回の会議日程について説明】

事務局

本日は長時間に渡ってのご審議、誠にありがとうございました。
以上をもちまして、平成28年度第2回社会教育委員の会議を閉会いたします。